

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-503221(P2008-503221A)

【公表日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2007-516840(P2007-516840)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 N 1/15 (2006.01)

C 12 N 1/19 (2006.01)

C 12 N 1/21 (2006.01)

C 12 N 5/10 (2006.01)

A 61 K 39/12 (2006.01)

A 61 P 31/12 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 12 N 1/15

C 12 N 1/19

C 12 N 1/21

C 12 N 5/00 A

A 61 K 39/12

A 61 P 31/12 1 7 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月17日(2008.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

P R R S V O R F 1 D N A 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチドを有する

、 P R R S V O R F 1 D N A の第一の部分領域と、

適切な医薬的担体と

を含む、 P R R S V に対する免疫反応を惹起しうるワクチン。

【請求項2】

前記部分領域が、配列番号1 - 14 のいずれか1つと少なくとも 85 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合せからなる群より選ばれる配列由来の少なくとも 150 の連続したヌクレオチドを有する請求項1に記載のワクチン。

【請求項3】

前記部分領域が、配列番号1 - 6、9、10 のいずれか1つと少なくとも 85 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合せからなる群より選ばれる請求項2に記載のワクチン。

【請求項4】

O R F 1 以外の P R R S V O R F 由来の最少 21 の連続したヌクレオチド、 P R R S V O R F 1 由来の少なくとも 21 の連続したヌクレオチド、およびそれらの組合せからなる群より選ばれる P R R S V 由来の D N A の部分領域をさらに含む、請求項1に記載

のワクチン。

【請求項 5】

P R R S V 感染に対する免疫反応惹起に有効な他の組成物をさらに含む、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 6】

前記 P R R S V O R F 1 が P R R S V の毒性株から誘導される、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 7】

助剤、賦形剤およびそれらの組合せからなる群より選ばれる成分をさらに含む、請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 8】

P R R S V O R F 1 D N A の部分領域由来の少なくとも 2 1 の連続したヌクレオチドを含む組成物を動物に投与する工程、および

その免疫反応誘発を生起させる工程

を含む方法である、P R R S V 感染症に感染しやすい動物に抗 P R R S V 免疫反応を惹起する方法。

【請求項 9】

前記組成物の 2 回目の投与を供する工程をさらに含む請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記部分領域が、配列番号 1 - 1 4 のいずれか 1 つと少なくとも 8 5 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合せからなる群より選ばれる配列由来の少なくとも 1 5 0 の連続したヌクレオチドを含む請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記部分領域が、配列番号 1 - 6 、 9 、 1 0 のいずれか 1 つと少なくとも 8 5 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合せからなる群より選ばれる請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 12】

前記組成物が、O R F 1 以外の P R R S V O R F 由来の最少 2 1 の連続したヌクレオチド、P R R S V O R F 1 由来の少なくとも 2 1 の連続したヌクレオチド、およびそれらの組合せからなる群より選ばれる第二の D N A 部分領域をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

P R R S V 感染に対する免疫反応惹起に有効な第二の組成物をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

前記組成物が、助剤、賦形剤およびそれらの組合せからなる群より選ばれる成分をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

少なくとも P R R S V O R F 1 D N A の部分領域を含むベクター。

【請求項 16】

前記ベクターがプラスミドである請求項 1 5 に記載のベクター。

【請求項 17】

前記 P R R S V O R F 1 D N A の部分領域が、P R R S V O R F 1 D N A 由来の少なくとも 2 1 の連続したヌクレオチドを含む請求項 1 5 に記載のベクター。

【請求項 18】

前記 P R R S V O R F 1 D N A の部分領域が、配列番号 1 - 1 4 のいずれか 1 つと少なくとも 8 5 % の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合せからなる群より選ばれる配列由来の少なくとも 1 5 0 の連続したヌクレオチドを有する請求項 1 7 に記載のベクター。

【請求項 19】

前記ベクターが、ORF1以外のPRRSV ORF由来の最少21の連続したヌクレオチド、PRRSV ORF1由来の少なくとも21の連続したヌクレオチド、およびそれらの組合せからなる群より選ばれるPRRSV DNAの第二の部分領域をさらに含む、請求項15～18のいずれかに記載のベクター。

【請求項20】

前記PRRSV DNAがPRRSVの毒性株から誘導される、請求項15に記載のベクター。

【請求項21】

PRRSV ORF1 DNA由来の少なくとも21の連続したヌクレオチドを含むプラスミドを含有する細胞。

【請求項22】

前記プラスミドが、配列番号1-14のいずれか1つと少なくとも85%の配列同一性をもつ配列およびそれらの組合せからなる群より選ばれる配列由来の少なくとも150の連続したヌクレオチドをさらに含む請求項21に記載の細胞。

【請求項23】

前記プラスミドが、ORF1以外のPRRSV ORF由来の最少21の連続したヌクレオチド、PRRSV ORF1由来の少なくとも21の連続したヌクレオチド、およびそれらの組合せからなる群より選ばれるPRRSV DNAの第二の部分領域をさらに含む請求項21に記載の細胞。

【請求項24】

前記PRRSV DNAがPRRSVの毒性株から誘導される、請求項21に記載の細胞。